

2016年総会 VJLSレポート (2015年9月～2016年8月)

2016年11月26日(土)

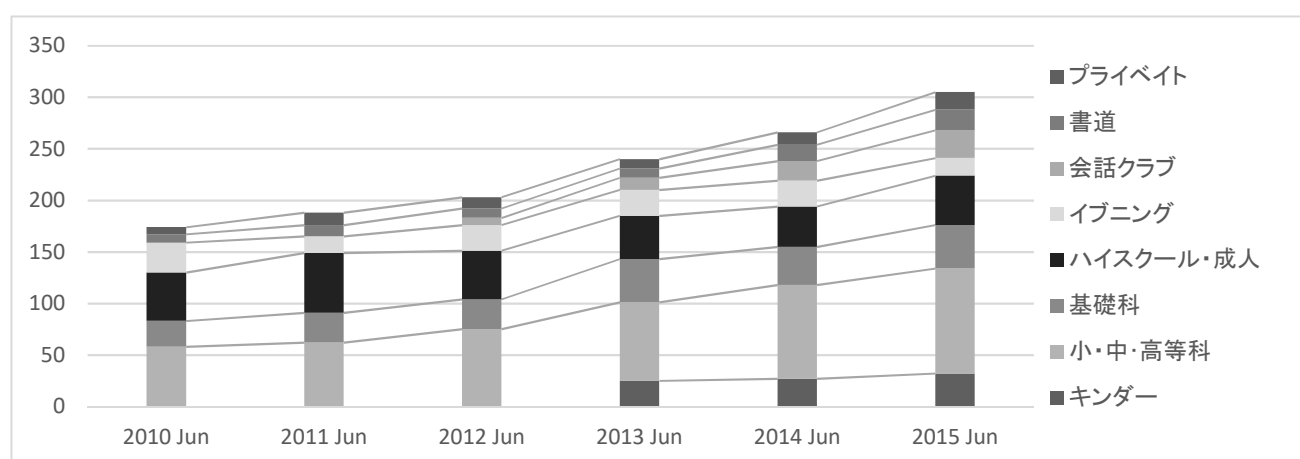
校長 本間真理

1) 2015年度(2015年9月～2016年8月) 教員

- 内藤邦彦、窪田恵子、内藤菜緒子、下田京子、宮本麻里、此島洋子、久田琴絵、久田麻由香、原口記代、林亜早子、源薫子、佐藤有希、関根美咲、牧野早希、伊藤克彦、松村寿美、溝上あすか、橋本祐梨、トルーデル嘉津子、ベイリー智子、本間真理、書道教員澁岡順子 合計22名
- 本間真理が校長、内藤邦彦が教頭として校務に当たった。

2) 生徒数

- 2015年9月 277人
- 2016年6月 327人



- 夜間成人クラス10週コースを年4回行なった。(グラフの人数は6月現在の人数)
- サマースクールは、7月に21名、8月33名が参加した。この人数は、上の表に入っていない。今回は、こどものくにの人数制限のため、5歳児もVJLSのサマースクールに入れた。

3) 教育

- 八木慶男を委員長とし、Education Committee Meeting を行い、本校の日本語教育向上に努めた。
2015年度の学習目標を「話す力を伸ばす」に設定し、人前で話す機会、会話力を伸ばす指導を重視した。
- 毎週土曜日の朝、8時半から職員朝礼を行い、また毎月、職員会議を行った。
- 例年通り、前期と後期に分け、保護者宛に生徒の通知表を配布した。
- 文集「アレキサンダーの鐘29号」を発行し、終業式の日配布した。
- 教師の勉強会を行い指導の向上に努めた。

生徒会

- 学校行事の手伝い、グリコ製品の販売を行った。
- ハロウィンパーティーの、お菓子の袋詰めなど地道な活動を行った。
- 各行事の司会を担当した。
- 顧問を内藤邦彦が担当し指導にあたった。

4) 年間行事

- 基礎科・ハイスクール・成人クラス・アセスメントテスト (9月5日)
- 入学式 (9月12日)
- 避難訓練(10月10日)火災を想定して、安全に Dunlevy Ave.と Railway St.の角にある駐車場にまで、速やかに避難する訓練が出来た。
- ハロウィンコスチュームコンテスト (10月31日)
 - ・特別ゲストとして、日本国領事館より、内田晃首席領事を審査員長に松田茂領事に参加して頂いた。
- クリスマスパティー (12月19日)
 - ・クリスマスパーティーは、市会議員、日本国領事などのゲストを迎え、家族で楽しむ会となった。
 - ・例年通り、グリコカナダから375人分の寄付を頂き、サンタから生徒に手渡しされた。
- 新年最初の授業日 (1月9日)に、「バンクーバー御輿の会楽一」の方々に来て頂き、獅子舞を披露してもらった。
- 書き初めを行った。ステージの上で正座して書き初めを行った。(3年生以上)
- 玄関に門松、カウンターにお鏡を飾り、お正月用の花を生け、また、昼食販売をお雑煮にしてもらい、日本文化としてお正月の行事を紹介した。
- 節分 (1月30日) ボランティアの方に鬼になってもらい、豆まきをした。
- 授業参観日/前期通知表を配布 (2月6日)
 - ・通知表は生徒ではなく保護者へ手渡し、短い時間だが保護者と懇談する時間を設けた。
- J A L T A 日本語教育振興会主催お話し発表会 (2月21日)に行われたに本校の生徒が2名参加し堂々とした発表を行った。
参加者：イン・アリス (高等科) 大沼あかね (総合科)
- 読み方発表会 (3月12日)
 - ・読む事に興味を持たせ、読む力を伸ばす目的で行う行事。練習の成果を発表する場となり、学習向上に意義のある行事となった。
- 次年度キンダークラスに入る生徒を対象にオープンハウスを開いた。(3月12日)
- 次年度1年生のためのオープンハウスを行なった。(4月9日)
 - ・キンダークラスを主体にオープンハウスを行い、進学するクラスの学習の様子を紹介した。子どもだけでなく保護者にも参観してもらった。
 - ・保護者を対象に指導目標と内容、基礎科と小学科の違いなどの説明を行った。
- 運動会 (5月1日) 晴天に恵まれた楽しい運動会となった。
- キンダークラス遠足 (5月14日) メインとパウエルにある消防所を見学した。
- 学習発表会 (5月28日)
 - ・歌、劇、発表などバラエティーに富んだ学習発表会になった
 - ・ゲストに内田主席領事、松田領事を迎えた。
- 熊本地震被災者支援を目的に6年生がホットドック販売を行った。(5月28日) \$255の収益を義援金として領事館に持っていった。
- キンダークラス卒園式 (6月11日) 26名卒園
- 卒業式/終業式 (6月18日)
 - ・今年は、6年生9名、中学生6名、高等科4名の19名が卒業し、スピーチを行った。
 - ・来賓に、岡井朝子総領事、松田茂領事、ケリー・ジャング市会議員、及川ロレーン JCCA 会長にお越しいただいた。
 - ・終業式で奨学金受賞者を発表し表彰した。またクラスアワード、19名、努力賞19名、皆勤賞22名を発表し壇上で紹介した。賞状はクラスで渡した。皆勤賞には\$10の図書券が商品として渡された。
- 終業式で校歌を歌うために校歌隊を設けた。

特記事項

- AED が学校に設置されたので、9月15日6名のスタッフが扱い方の講習を受けた。管理は山田恒憲さんが担当している。
- Wi-Fi がどのクラスでも使えるようになったので、コンピュータを使った授業が多くなった。プロジェクターも2台目を購入して活用した。教師研修会などで講習を受けるとデジタル教材研究が多く、これからはそれに対応できる設備にして行きたい。
- 低学年用の机と椅子を25セット購入した。昨年度購入した1年生に続き2年生も体に合った椅子と机になり、落ち着いて学習できる設備となった。
- 火曜日の夜開いている10週成人クラスの生徒が増えてきている。フェイスブック、ウェブサイトの充実によるものだと思う。
- Eメールによる保護者と教師との連絡が増えてきた。連絡が取りやすくなった。
- 日系アーティストの望月シンディさんの指導で、4年生が4週に渡り、「海岸線に住む生き物たち」と題した創作プロジェクトに挑戦した。日本語での指導で製作を行い、日本語で発表した録画が作品と一緒にアクセスギャラリーにて2月13日～4月16日まで公開された。生徒達にとって日本語学習と共に貴重な体験となった。
- 11月29日日曜日、日系コミュニティー団体「隣組」からの要望で、隣組クリスマス音楽会に本校生徒13名（キンダークラスから小学科4年生まで）が参加した。上手にクリスマスソングを歌い、学校代表の役目を果たした。
- 書道クラブに参加する生徒の中で、日本の検定コース「教育習字連盟」に参加する生徒が増え、金・銀・銅賞、連盟賞をもらった。日本の子ども達と同じ審査なので、学年があがってくるとどうしても差がでてくるという条件の中、みな健闘した。
- バザーなどの会館行事を手伝う生徒が増えた。特にアダルト・ハイスクールの生徒は、習った日本語を使う場として役立て自主的に手伝いを申し出てくるようになった。
- 2015年度は、皆勤賞受賞者が22名いた。3年連続皆勤賞が1名、4年連続皆勤賞が1名いた。生徒のみではなく保護者の協力を得ていると感じた。
- 2015年度も、日本文化継承を目的に和楽器、笙のワークショップを行った。(11月7日)
- 2015年度も校長として「土曜日は日本語」をスローガンに、登校下校時に生徒、保護者に声をかけ、校内では日本語のサインを増やし、日本語環境にすることを重視した。さらに日本語環境に力を入れ、教室以外でも日本語の学習につながるよう次年度も努力していきたい。

お礼

たくさんの方々のご支援を頂き、2015年度を終了することができました。理事をはじめ、保護者、会員の方々にお礼申し上げます。また、定期的に来て下さるボランティアの方々、図書室のボランティアの方々など、多くのボランティアの方々にご協力を頂きました。心より感謝いたします。